

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- | | | | | |
|---|--------|--------------------------|--------------------|--------------------|
| 1 | 会 議 名 | 坂下高等学校 学校運営協議会 (第1回) | | |
| 2 | 開催日時 | 令和8年6月25日(木) 13:30～15:10 | | |
| 3 | 開催場所 | 坂下高等学校リハビリ実習室 | | |
| 4 | 参 加 者 | 会 長 | 須栗 大 | 中京学院大学教授 連携推進部長 |
| | | 副 会 長 | 鎌田 則之 | やさか観光協会会長 |
| | | 委 員 | 半沢 岳彦 | 坂下まちづくり協議会理事(書面参加) |
| | | | 安江 裕之 | 坂下公民館長 |
| | | | 清水 芳樹 | 坂下中学校長 |
| | | | 丹羽 達也 | 坂下小学校長(書面参加) |
| | | | 秋山 小枝 | 本校同窓会長 |
| | | | 長瀬 愛 | 中津川市社会福祉協議会地域福祉課 |
| | | | 伊藤あずさ | 地域住民 |
| | | | 原 文香 | 本校保護者代表 |
| | オブザーバー | 森 益基 | 岐阜県議会議員(書面参加) | |
| | | 成瀬 博明 | 中津川商工会議所専務理事 | |
| | | 岩久 義和 | 中津川市教育長(書面参加) | |
| | | 長瀬 芙美 | 中津川市役所 地域づくり協働課 係長 | |
| | | 廣瀬 竜也 | 坂下総合事務所長 | |
| | | 土井 康德 | 中津川市役所 高齢介護課長 | |
| | 学 校 側 | 杉山 醇 | 校長 | |
| | | 小栗 毅石 | 教頭 | |
| | | 斎藤 良成 | 事務長 | |
| | | 熊谷 美奈 | 教務主任 | |
| | | 曾我 純一 | 生徒指導部長 | |
| | | 酒井 雅代 | 進路指導部長 | |
| | | 石田 早絵 | 地域探究科主任 | |
| | | 田上 紘子 | 福祉科主任 | |

5 会議の概要（協議事項）

（1）学校運営基本方針等について

- | | | |
|---|---|---------|
| ア | 学校運営基本方針について | 【学 校 長】 |
| イ | 各分掌の重点方針 | 【各分掌長】 |
| ウ | 令和8年度教育課程について | 【教務主任】 |
| エ | 学校運営基本方針、教育課程の承認
質問等はとくになし
学校運営基本方針、教育課程を承認する | |

（2）坂下高校の現状について【学校長、各分掌長による説明】

- | | | |
|---|-------------------------|-----------|
| ア | 令和8年度 在籍生徒について | 【教 務 主 任】 |
| イ | 令和7年度 地域探究科3年生へのアンケート結果 | 【教 務 主 任】 |
| ウ | 令和8年度 入学生、2年生へのアンケート結果 | 【教 務 主 任】 |
| エ | 高校生活で注意すべきこと | 【生徒指導部長】 |
| オ | 令和7年度 進路状況 | 【進路指導部長】 |
| カ | 令和8年度 デュアルシステムについて | 【進路指導部長】 |
| キ | 令和7年度 地域探究科の取り組み | 【地域探究科主任】 |
| ク | 令和7年度 福祉科の取り組み | 【福祉科主任】 |
| ケ | 福祉科介護実習受入事業所について | 【福祉科主任】 |
| コ | 令和7年度「咲明日高校マルシェ」について | 【マルシェ担当者】 |
| サ | 令和8年度 CORE ハイスクール事業について | 【教 頭】 |

（3）学校運営全般に関する意見交換について

- 意見1：きりら坂下でのイベントについて、本校の生徒にも紹介して関わってほしい。
また、どの生徒も身だしなみがしっかりしている。
- 意見2：公民館で生徒のポスター掲示などを今年も行い、本校のことを地域に知ってもらえればと考えている。今年の公民館講座では、食べ物の企画も継続しながら、体を動かすようなこともできないかと思っている。服装についてはきちんとしている。道路の狭いところを通行する姿がやや気になる。
- 意見3：本校はギターマンドリン部と手厚い指導のイメージがある。毎朝バス通学の生徒を見ているが、真面目な様子。目が合うと挨拶をしてくれて好感がもてる。近くにある学校なので、今年もいろいろな形で関わりを進めていきたい。
- 意見4：同窓会も広報面でお手伝いしたい。福祉科の人数が増えたことがよかった。これからもつながりをもっていきたい。町内で生徒の様子を見ていると、若々しく活力があってよい。
- 意見5：いろいろなところで福祉科にお世話になっている。学校運営協議会にも多くの教職員が参加していて、学校全体で盛り上げていこうという思いが伝わってくる。社協としても協力したい。
- 意見6：ボランティアグループで、生徒たちと花植えや駅のイルミネーションなどで一緒に活動している。七夕などでメッセージを書いてもらう活動などは本当に心が温まる。マルシェは地域の事業主さんが高校生と関わる場所にもなっているので、応援したい。

意見 7：高校選択のときに、本校は教職員と生徒との距離が近く、指導が手厚いと聞いた。実際に校外へ実習に行ったり、地域のボランティアに行ったり、よい経験ができている。保育コースでは地域の方や大学教員の授業も受けられて、よい学びができている。保護者としても満足している。

意見 8：アンケートの項目によっては、評価が下降傾向のものがある。一年ですぐ改善しようとするのではなく、分析を行い、様子を注視しながら改善点を検討していくとよい。

制服については、他校ではポロシャツなども導入していることもあるが、本校でもそのような涼しい制服を考慮してもよいのではないかな。

求人については、数が多すぎて見つけ出すのが大変というのは大学でも同様の傾向。AI を利用できないか検討している。

地域探究科では、中津川市の政策コンテストに応募してはどうか。福祉科は入学生が増えてよかったが、今年なぜ増えたのか。その理由がわかれば今後の広報活動につながるのではないかな。人数が集まっている学校との比較なども有効である。

(4) オブザーバーより

意見 1：地域探究科については、当初心配をしたが入学生が集まっており一定の成果はあったのではないかな。福祉科については、入学生が増えたと言っても入学志願者が定員を割り込んでいる。介護福祉士ということだけで本当に中学生が集まるのか。そもそも介護は求人が多いが、希望者は少ないという現状もある。実態について研究するべきではないかな。高校として、目標は入学志願者が定員を越す学校であるはずである。そのために現状をしっかりと分析し、中学校に広報に行く必要があるのか、もっと違うアプローチをするべきなのかなを考えるべき。

これからの少子化は本当に厳しい現状がある。本校としての特化した成果をもっと新聞やマスコミにPR しないといけない。本校はそこが上手くない。また、企業では基礎学力は絶対に必要。学力が維持できるように努力してほしい。

意見 2：地域づくり協働課で行っている日本語教室に本校の生徒がボランティアに来ている。地域に根付いた学校として市としても協力したい。

意見 3：職員が講義をしたり、生徒が公民館の行事に参加したりするなど連携している。熊についても、学校関係者と連携して、安全確保に努めたい。

意見 4：長い間、本校には敬老祝いの品を作ってもらっており、関係がある。本校は県内に数少ない福祉科の学校であり、市でも奨学金などのサポートをしている。コロナ禍の頃、中学生が職場体験をするときに高齢者施設に行けなかった。市ではそれを復活させたいと取組んでいる。福祉フェアやボランティア基礎講座でPR も行っている。福祉に興味をもつ子どもが増えて、本校の福祉科入学生増につながればと市としてもありがたい。

6 会議のまとめ

- (1) 第 1 回学校運営協議会では、委員より今年度の本校学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- (2) 本校の教育目標「～地域と共に、地域と育つ～」を念頭に置いた学習活動について良い評価を得ている。今後も地域と連携した様々な活動に取り組み、地域に愛着をもち、将来地域で活躍できるような人材の育成に努めていきたい。
- (3) 学科改編から 5 年目を迎え、これまでの取組みや成果を検証し、今後の教育活動について

再検討していく時期である。地域探究科については地域と連携した教育活動が形となり、また中学生・保護者・地域住民にその活動が認められてきている。今後は「総合的な探究の時間」を中心に探究活動の質を高める工夫をしていきたい。

福祉科については、従来通り、介護福祉士の資格取得ができる学校という本校の特長や介護・福祉・医療職等に従事することの魅力を発信しつつ、福祉の学びが様々な仕事につながることを踏まえた進路先の多様性についても広く発信していきたい。